

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年02月15日

計画の名称	はだの 下水道防災事業計画（第2期）											
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	秦野市											
計画の目標	下水道施設の耐震化、長寿命化及び浸水対策を図り、平常時から災害時の管渠及び水処理機能を確保し、災害に強い下水道施設の実現を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	6,072	A	6,072	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)
1	重要な拠点からの汚水を受ける管渠の耐震化率を58.6%（H28）から98.4%（R2）に増加させる。 重要な拠点からの汚水を受ける管渠の耐震化率 重要な拠点からの汚水を受ける管渠のうち、耐震化された管渠の延長（km） / 重要な拠点からの汚水を受ける管渠の延長（km）	59%	85%	98%
2	マンホールトイレ対応施設設置率を33.3%（H28）から100%（R2）に増加させる。 マンホールトイレ対応施設設置率 マンホールトイレ対応施設の設置済箇所数 / マンホールトイレ対応施設の設置が必要な箇所数	33%	100%	100%
3	処理場における長寿命化対策実施率を35.1%（H28）から100%（R2）に増加させる。 処理場における長寿命化対策実施率 長寿命化対策実施済みの処理場機器数（個） / 長寿命化対策実施すべき処理場機器数（個）	35%	81%	100%
4	下水道による都市浸水対策達成率を36.8%（H28）から38.1%（R2）に増加させる。 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha）	37%	38%	38%
5	処理場の耐震化率を33.3%（H28）から100%（R2）に増加させる。 処理場の耐震化率 耐震補強実施数 / 耐震診断の結果耐震補強が必要な施設数（3箇所）	33%	100%	100%
6	処理場における改築更新実施率を19.7%（H31）から100%（R2）に増加させる。 処理場における改築更新実施率 改築更新実施済みの処理場機器数（個） / 改築更新実施すべき処理場機器数（個）	20%	20%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	秦野市	直接	-	管渠(汚水)	改築	管路施設の耐震化(地震対策)	L=16.8km	秦野市						433		策定済	
		総合地震対策事業																		
	A07-002	下水道	一般	秦野市	直接	-	管渠(汚水)	新設	マンホールトイレ対応施設設置(地震対策)	N=2箇所	秦野市							3		策定済
		総合地震対策事業																		
	A07-003	下水道	一般	秦野市	直接	-	終末処理場	改築	秦野市浄水管理センター改築(地震対策)	耐震診断及び耐震補強(管理棟、沈砂池施設、汚泥処理施設、汚泥濃縮施設、水処理施設(第3池))	秦野市							494		策定済
		総合地震対策事業																		
	A07-004	下水道	一般	秦野市	直接	-	終末処理場	改築	秦野市浄水管理センター改築(水質保全)	改築(管理棟、沈砂池施設、汚泥処理施設、水処理施設(第3池))	秦野市							2,000		策定済
		総合地震対策事業																		
	A07-005	下水道	一般	秦野市	直接	-	管渠(汚水)	-	管きよ、秦野市上水管理センターの長寿命化計画	調査・計画策定	秦野市							135		策定済
		長寿命化支援制度																		
	A07-006	下水道	一般	秦野市	直接	-	管渠(汚水)	改築	矩形無筋マンホールの耐震化(地震対策)	N=5基	秦野市							15		策定済
		総合地震対策事業																		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	秦野市	直接	-	管渠(雨水)	新設	雨水枝線整備(浸水対策)	L = 4.2Km	秦野市						1,665	-	
	A07-008	下水道	一般	秦野市	直接	-	管渠(雨水)	新設	大根第10雨水幹線整備(浸水対策)	L=0.6Km	秦野市							1,032	-
	A07-009	下水道	一般	秦野市	直接	-	管渠(雨水)	新設	室川第9-1雨水幹線整備(浸水対策)	L=0.5Km	秦野市							195	-
	A07-010	下水道	一般	秦野市	直接	-	管渠(雨水)	新設	水無第11-1雨水幹線整備(浸水対策)	設計	秦野市							20	-
	A07-011	下水道	一般	秦野市	直接		終末処理場	改築	秦野市浄水管理センター改築(改築更新)	改築(受変電施設、自家発電施設)	秦野市							80	策定済
												小計						6,072	
												合計						6,072	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
秦野市上下水道局において、事業実施状況・指標の達成状況の確認及び事後評価を実施	令和4年度
	公表の方法 市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道総合地震対策計画による重要な拠点からの汚水を受ける管渠の耐震化事業を促進したことにより、耐震化率が29.1%増加し、災害に強い下水道管渠の構築が図られた。 ・マンホールトイレ対応施設の設置により、被災した場合の避難所でのトイレ使用を確保することができた。 ・下水道長寿命化計画や下水道ストックマネジメント計画による老朽化した処理場設備等の改築更新を実施したことにより、適切な処理場設備の機能維持が図られた。 ・浸水対策事業による雨水幹線、枝線の整備を促進したことにより、浸水対策達成率が0.2%増加し、内水による浸水被害を最小化する防災対策が図られた。 ・処理場施設の耐震補強工事を設備の改築更新工事とあわせて実施したことにより、効率的に施工することができた。また、耐震性能を有したことにより地震時に下水道が最低限有すべき機能を確保することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・重要な拠点からの汚水を受ける管渠については、耐震化を実施する必要性が高いことから施工困難な箇所について耐震化工事の実績のある業者や国、県、先進都市等から施工方法の情報収集を引き続き行い、災害に強い下水道管渠の構築を図っていく。 ・処理場施設の耐震化工事及び設備の改築更新工事については、下水道総合地震対策計画及び下水道ストックマネジメント計画により計画的かつ効率的に施工し、適切な処理場機能の維持が図られるよう社会資本総合整備計画（第3期）においても引き続き実施していく。 ・浸水対策については、現在把握している浸水管渠の被害解消に向けた雨水管渠等の整備を進め効果的な浸水対策を実施し内水による浸水被害を最小化する防災対策を実施していく。 	

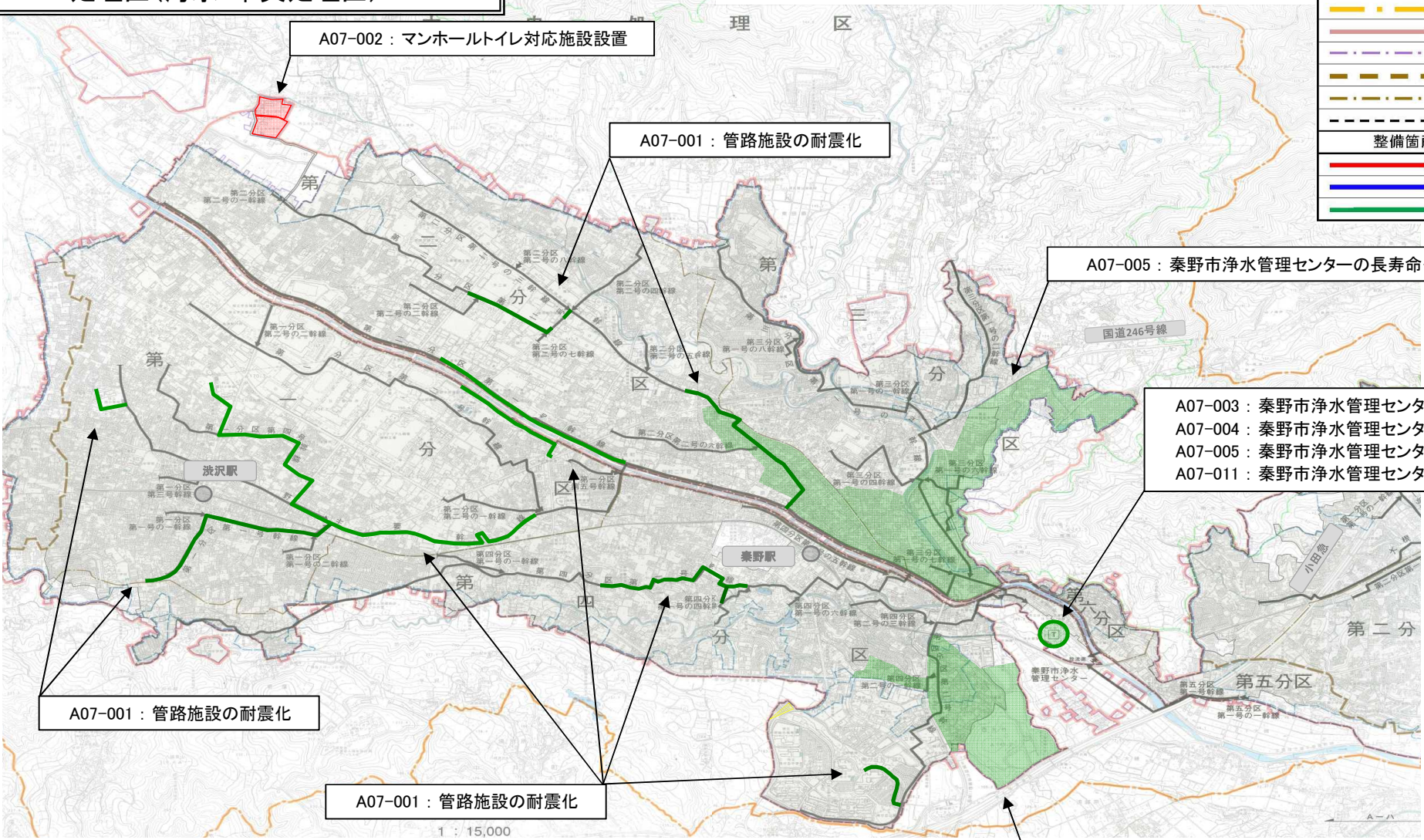
目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	指標（重要な拠点からの汚水を受ける管渠の耐震化率）	
	最終目標値	98%
最終実績値	88%	
2	指標（マンホールトイレ対応施設設置率）	
	最終目標値	100%
最終実績値	100%	
3	指標（処理場における長寿命化対策実施率）	
	最終目標値	100%
最終実績値	100%	
4	指標（下水道による都市浸水対策達成率）	
	最終目標値	38%
最終実績値	37%	
5	指標（処理場の耐震化率）	
	最終目標値	100%
最終実績値	100%	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
6	指標（処理場における改築更新実施率）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	20%
	処理場の改築更新工事は令和2年度から令和4年度までの継続工事であり、社会資本総合整備計画（第3期）において引き続き工事を実施し、最終年度には目標値を達成できる見込みである。	

計画の名称	はだの 下水道防災事業計画（第2期）		
計画の期間	平成28年度 ~ 令和2年度（5年間）	交付対象	秦野市

処理区(汚水:中央処理区)

凡 例	
	行政界
	全体計画区域
	事業計画区域
	処理区域界
	処理分区界
	市街化区域
整備箇所の色分け	
	新 設
	増 設
	改 築



- A07-003 : 秦野市浄水管理センター改築(地震対策)
- A07-004 : 秦野市浄水管理センター改築(水質保全)
- A07-005 : 秦野市浄水管理センターの長寿命化計画
- A07-011 : 秦野市浄水管理センター改築(改築更新)

A07-005 : 秦野市浄水管理センターの長寿命化計画(管きよ)

計画の名称	はだの 下水道防災事業計画（第2期）		
計画の期間	平成28年度 ～ 令和2年度（5年間）	交付対象	秦野市

処理区(雨水:第一排水区域)

凡 例	
	行政界
	全体計画区域
	事業計画区域
	処理区域界
	処理分区界
	市街化区域
整備箇所の色分け	
	新 設
	増 設
	改 築

